

令和2年度教育研究活動報告書

氏名	藤井 佐美	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	博士（文学）	職位	教授
専門分野	伝承文学・民俗学		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	瀬戸内文化論、民話研究、民俗学Ⅰ、民俗学Ⅱ、伝承文学専門演習a、伝承文学専門演習b、卒業論文（構想・準備）、卒業論文（制作）、文化財学、尾道学入門（オムニバス）、フィールドワーク（オムニバス）
大学院	日本文学・言語文化総論（オムニバス）、地域文学特論
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）日本の民間説話	
（2）説草と唱導の場	
（3）祭祀儀礼と地域伝承	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R2・R1・H30	
R2	〈論文〉昔話の扉をひらく2「犬の足」－後ろ足を上げる理由－ （尾道文学談話会会報第11号、令和3年2月3日）
R1	〈論文〉昔話の扉をひらく1「猫と南瓜」－自然生えの南瓜は食べるものでない－ （尾道文学談話会会報第10号、令和2年2月4日） 〈分担著書〉『47都道府県・民話百科』広島県・愛媛県（令和元年11月25日、丸善出版）
H29以前の主な研究業績	
（1）〈共著書〉『琉球の伝承文化を歩く4 八重山・石垣島の伝説・昔話（二）---登野城・大川・石垣・新川---』 （平成29年、三弥井書店）	
（2）〈論文〉『説経才学抄』覚書 --- 演変の様相 ---（『唱導文学研究』第11集、平成29年、三弥井書店）	
（3）〈論文〉尾道市久山田町の伝承文化3---平成28年度・民俗研究の展示より---（『尾道文学談話会会報』第7号、平成29年2月）	
（4）〈論文〉平成二十八年度日本文学科フィールドワーク成果報告（『尾道文学談話会会報』第7号、平成29年2月）	
（5）〈論文〉伝承文学比較双書『鷹と鍛冶の文化を拓く 百合若大臣』（平成27、三弥井書店）	
（6）〈論文〉絵巻『道成寺縁起』を読み解く－安珍清姫伝説を追って－（『尾道文学談話会会報』第6号、平成27年）	
（7）〈論文〉真福寺蔵『説経才学抄』布施の唱導説話－演変をめぐる注解－（『尾道市立大学芸術文化学部紀要』第13号、平成26年）	
（8）〈論文〉尾道市久山田町の伝承文化2－平成二十六年度・鉦太鼓踊りの調査研究－（『尾道文学談話会会報』第6号、平成26年）	
（9）〈論文〉民話に関する大学生の意識調査－尾道市立大学「民話研究」のアンケート結果を中心に－ （『尾道文学談話会会報』第5号、平成26年）	
（10）〈論文〉尾道市久山田町の伝承文化1－平成23～24年度の調査研究－ （『尾道市立大学地域総合センター叢書』7、平成26年）	
（11）〈論文〉中世文学と隣接諸学シリーズ8『中世の寺社縁起と参詣』（平成25年、竹林舎）	
（12）〈論文〉石垣島の御嶽と説話---四箇の伝承事例を中心に---（『説話・伝承学』第20号、平成24年）	
（13）南島説話と祭祀の変容－神女・真乙婆をめぐる伝承－（『尾道市立大学日本文学論叢』第8号、平成24年）	
（14）〈単著書〉真言系唱導説話の研究---付・翻刻 仁和寺所蔵『真言宗打聞集』（平成20年、三弥井書店、日本学術振興会平成20年度科学研究助成図書）	
（15）〈論文〉シリーズ『唱導文学研究』第2集、3集、4集、5集、6集、三弥井書店）	

学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） H30・R1・R2			
所属学会・所属団体 役職等と任期			
日本民俗学会、奄美沖縄民間文芸学会（運営委員）、説話・伝承学会、説話文学会、仏教文学会、日本仏教総合研究学会、日本宗教文化史学会、日本昔話学会、日本口承文芸学会、中世文学会、中古文学会、西行学会、伝承文学研究会、唱導研究会、立命館大学日本文学会、尾道市立大学日本文学会、尾道市立大学伝承文化研究会（代表）			
IV 社会活動			
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）			
（1）エフエム尾道出演			
（2）栗原公民館講座の中止（次年度へスライド）			
（3）尾道文学談話会の延期（次年度へスライド）			
2. 委員会及び協議会委員（本年度1年間の活動状況）			
	委員会等の名称	委員長・委員等の別	出席回数（回）
（1）尾道市関係	尾道市文化財保護委員会	委員	全回